

【院長挨拶】

現在、地域医療構想について、国や都道府県レベルで盛んに議論されています。つい先日も大阪市内の地域ごとに病院連絡会が開催され、各病院が急性期を続けるのか、他の機能区分に転換するのか、意思表示を求められています。一方9月末には厚労省の地域医療構想ワーキンググループから、全国の「公立・公的病院、地域医療支援病院」を対象に、診療実績や近隣に類似の機能を有する病院の有無に基づいて、統合再編を含めた再検証を要請する424病院が公表され、大阪府下でも10病院が挙げられていると報道されました。当院はこれまで通り、救急診療、がん診療、心血管・脳血管疾患について地域で連携しながら医療を展開し、研修医育成にも注力していく方針です。



さて、10月から3テスラMRIが稼働開始しました。診療面での大きな貢献が期待されます。また患者さん・ご家族・職員の皆さんには長い間不便をおかけしていましたが、漸く売店・食堂がリニューアルし開業にこぎつけました。

今年も11月に大阪市南部地区医療講演会を開催します。地域で医療や介護に携わる多職種の皆さんを対象に、多くの方の参加をお待ちしています。

寺柿 政和

【第8回 大阪市南部地区医療講演会のお知らせ】

毎年恒例の標記医療講演会を下記日程で行います。

日時：2019年11月30日（土）17:30～

開場：天王寺都ホテル 6階 吉野の間

場所：大阪府大阪市阿倍野区松崎町 1-2-8

※大阪府医師会生涯研修単位の申請（1.5単位）を予定しています。

※講演終了後に懇親の場をご用意しております。

Session.1 17:30～18:00

【座長】東住吉森本病院 副院長 池邊 孝

「当院における医療安全活動について」

東住吉森本病院 医療安全管理室 早瀬 香

「当院におけるNST活動と高齢者の栄養管理の現状」

東住吉森本病院 栄養科 八野 彩希



Session.2 18:00～19:30

【座長】東住吉森本病院 副院長 仲川 浩一郎

「3.0T MRI導入に関して」

東住吉森本病院 放射線科 藤本 圭志

「心臓リハビリテーションについて」

東住吉森本病院 循環器内科 高木 康浩

「救急・総合診療センターの現状と展望」

東住吉森本病院 救急・総合診療センター 池邊 孝

【消費税変更に伴うお知らせ】

令和元年10月から消費税の変更が実施されます。それに伴い、初診時選定療養費「2,000円」（消費税含む）でいただいておりますが、2019年10月1日付をもちまして、「2,200円」（消費税含む）に変更させていただきます。よろしくお願いいたします。

今年9月で鷹合の地に移転し15年が経過しました。移転と同時に2台目のMRIとして導入した1.5T MAGNETOM Symphonyも更新の時期になり、かねてから3T MRIの導入を検討していました。今秋、待望の3T MRIへの更新が決定し10月より本格稼動しています。平素より多くの検査依頼を頂いていた地域の先生方には工事中に検査数が制限されご迷惑をおかけしましたが、画質の向上による臨床診断への更なる寄与が期待されます。

3T MRIは従来より磁場強度が2倍になることからS/N比が向上し、更なる画質の向上が期待されます。特に artifactの影響を受けにくい脳神経系や関節部での画像向上に強みを発揮するものと思われます。また、体動によるアーチファクト軽減シーケンスによる腹部領域への応用も期待されます。当院では1.5Tと3Tと異なった特徴も持つMRI2台を稼動していく事になりましたが、症例に応じて撮影機器も選択していきたいと思えます。ご理解、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。



3T MRI MAGNETOM Lumina (Siemens 社製)



車椅子でも利用可能な広さのバリアフリー設計された更衣室

【連載 no.17】 病棟勉強会

緩和ケア病棟 師長 江口 由紀

緩和ケア病棟を利用される患者様の多くが、ご自宅や一般病棟での症状コントロールに難渋している方々です。私達はそのつらさに対応する能力を磨くため、毎月、医師やコメディカル等と協働し病棟勉強会を行っています。9月は理学療法士と共に、「呼吸介助」の勉強会を行いました。呼吸困難は難渋する症状のひとつであり、薬物療法だけでは緩和できません。呼吸介助などの非薬物療法を併用することで症状緩和に繋がります。そして学んだ手技を定期的に確認しています。

先日、緩和ケア病棟へ地域の訪問看護ステーションの看護師が実習に来ました。ケアを体験しながら対話を重ねることで相互理解に繋がり、シームレスな関係が築けるのだと実感できた一日になりました。



冬季に流行する感染症に代表されるノロウイルスやインフルエンザは、ひとたび流行すると短期間で感染が拡大します。本格的な流行が始まる前に感染対策の準備をしておきましょう。当院では、冬季に流行するノロウイルスとインフルエンザの感染対策ポイントシートを作成し、流行期には「いつでも・誰でも・同じように」円滑に感染対策が行われるよう努めています。

ノロウイルス感染症対策ポイントシート

1. 感染対策に関すること

外来患者への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・接触感染予防策を実施する。 ・入院は必要時のみとし、可能な限り自宅療養とする。 ・入院の際は個室を手配する。 ・下痢症状のある患者が使用したトイレは、ルビスタで消毒する。
入院中にノロウイルス感染症を発症した患者への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・接触感染予防策を実施する。 ・ノロウイルス感染症発症時はただちに個室隔離とする。 ※複数名の隔離を行う際は個室での集団隔離を検討する。 ・他病棟への転棟、リハビリなど院内の移動を中止する。 ・隔離期間：下痢症状消失後2日間経過するまで隔離とする。 ・陰性確認は不要とする。
同室者への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・接触予防策を実施する。 ・転室・転棟は3日間禁止とする。 ・他病棟への転棟、リハビリなど院内の移動を中止する。 ・退院予定の場合は主治医からノロウイルス発症の可能性について説明する。
ノロウイルス患者と濃厚接触した職員への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・濃厚接触をした場合は、接触後2日間は健康状態に留意し就業する。 ※栄養科への立ち入りを行う業務は避ける。
職員が発症した場合	<ul style="list-style-type: none"> ・就業規制：嘔吐・下痢症状消失後2日間以上経過すれば就業可能。 ・就業再開後も、石鹸と流水による手指衛生を助行し就業する。 ・ノロウイルス感染症が発症した部署の管理者は、職員の安全管理に留意する。

※その他、詳細については「感染防止ガイドライン」を参照する。

2016年11月 作成
2018年10月 改訂

インフルエンザ感染対策ポイントシート

1. 感染対策に関すること

外来患者への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・飛沫感染予防策を実施する。 ・入院は必要時のみとし、可能な限り自宅療養とする。 ・入院の際は個室を手配する。
入院中にインフルエンザを発症した患者への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・飛沫感染予防策を実施する。 ・インフルエンザ発症時はただちに個室隔離とする。 ※複数名の隔離を行う際は個室での集団隔離を検討する。 ・他病棟への転棟、リハビリなど院内の移動を可能な限り中止する。 ・抗インフルエンザ薬を投薬する。 ・隔離期間：発症後5日かつ解熱後2日とする。 ・治療後の陰性確認は不要とする。
同室者への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・飛沫予防策を実施する。 ・転室・転棟は3日間禁止とする。 ・他病棟への転棟、リハビリなど院内の移動を可能な限り中止する。 ・退院予定の場合は主治医からインフルエンザ発症の可能性について説明する。 ・同室者には主治医の判断により抗インフルエンザ薬の予防投薬を行う。 (病院負担)
インフルエンザ患者と濃厚接触した職員の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・濃厚接触をした場合は、接触後7日間はサージカルマスクを着用し就業する。 ・家族など院外での発症の場合や、本人の希望があれば予防投薬を行う。(自費) ※それ以外の予防投薬は行わない。
職員が発症した場合	<ul style="list-style-type: none"> ・就業規制：発症後5日かつ解熱後2日とする。 ・抗インフルエンザ薬を服用する。 ・就業再開後も、発症後1週間はサージカルマスクを着用し就業する。 ・インフルエンザが発症した部署の管理者は、職員の安全管理に留意する。

2. 薬剤処方に関すること

治療 処方別	<p>(処方別)</p> <p>①タミフル®カプセル 75mg 1日2回、1回1cap×5日分</p> <p>②ゾフルーザ®錠 20mg 1日1回20mg錠2錠(体重80kg以上1回20mg4錠)</p> <p>※12歳以上は成人と同量・12歳未満は添付文書参照</p> <p>③イナビル®吸入粉末剤 20mg 1日1回4吸入×1日分(計2容器)</p> <p>※10歳以上は成人と同量・10歳未満は1日1回2吸入×1日分(計1容器)</p> <p>④ラビアクタ®点滴静注液 300mg/60mL 1日1回1本</p> <p>※15分以上かけて点滴静注を行う。※腎機能障害患者は使用量に注意する。</p>
予防投与 処方別	<p>①タミフル®カプセル 75mg 1日1回、1回1cap×7-10日分</p> <p>②イナビル®吸入粉末剤 20mg 1日1回4吸入×1日分(計2容器)</p> <p>もしくは1日1回2吸入×2日分(計2容器)</p> <p>※10歳以上は成人と同量・10歳未満は1日1回2吸入×1日分(計1容器)</p>

※その他詳細については「感染防止ガイドライン」を参照する。

2016年11月 作成
2018年10月 改訂

医療法人協会 東住吉森本病院 感染防止委員会

【連載 no.01】 地域医療連携の窓

地域医療連絡室 係長 田代 真人

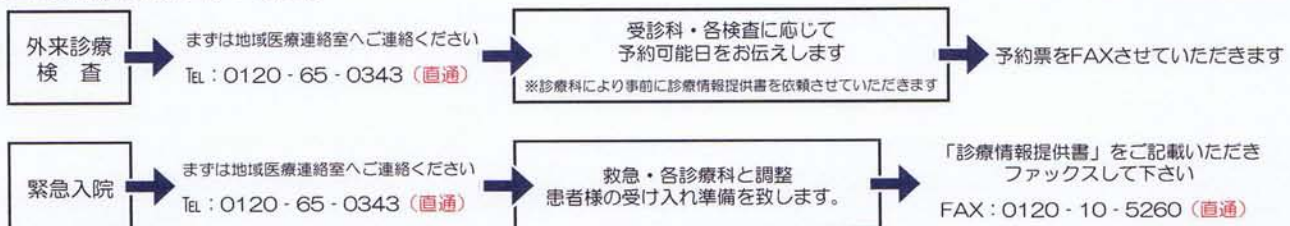
地域の病院、診療所の先生及び各施設の方々におかれましては、平素より当院との地域連携にご協力いただきありがとうございます。

当院の地域医療連絡室は、地域医療支援病院として医師会や医療機関と連携し地域医療ネットワークを整備し、当院とかけつけ医療機関との業務分担を行い、患者さんが安心して継続的医療を受けられるようサービスの向上を図ることを目的としています。

具体的には、地域の医療機関(紹介元)より、当院に患者さんを紹介していただく際の窓口として検査・診療・入院予約の受け付けをしています。また、当院からかけつけ医療機関への逆紹介など紹介元及び紹介先医療機関との情報管理を行います。



地域医療連携センターのメンバー我々が対応致します。



現在、ホームページの改善や在宅療養後方支援の連携方法について検討を行っております。今後とも地域医療連携センターをよろしくお願致します。

【第二回東住吉緩和ケア学習会】



日 時：2019年9月17日(火)18時00分～19時30分

場 所：東住吉森本病院 6階食堂

第2回目のテーマは、「アドバンスケアプランニング ～あなたにとって大切なことはなんですか?～」という内容で当院緩和ケア科部長の大場医師が講演を致しました。対象者は、職員、東住吉区および近隣の医療・介護従事者。18時からという時間にもかかわらず多くの参加者がありました。

【大阪市消防局・東住吉森本病院症例検討会】

日 時：2019年10月11日(水)10:30～12:30

場 所：東住吉森本病院 6F 講堂

大阪市消防局との症例検討会を実施。搬送事例や内視鏡の事例などについて意見交換が行われました。



【災害訓練実施】

日 時：2019年10月20日(日)9:00～12:00

場 所：東住吉森本病院 1階フロア全体

訓練内容：災害時トリアージ診療訓練(ブラインド型)

対 象：東住吉森本病院職員

今年も恒例の災害訓練を実施いたしました。今年の想定は、2019年10月21日(月)午前8時30分、上町断層に震度6強の直下型地震発生。震源など未発表。病院内における被害は、電気供給正常。電子カルテは不具合により一時的に使用不可。放射線や検査等は通常通り使用可能。外線電話は一部のみ可。などといった状況下で、近隣周辺の多数負傷者受け入れを行う想定。当日参加者の役割は、災害対策本部が決定するというブラインド型を採用し実施いたしました。



【医科歯科連携勉強会】

平野区歯科医師会 副会長 篠田 豊先生をお招きし、「がん診療拠点病院における医科歯科連携の推進にむけて」という演題で講演頂きました。

日 時：2019年10月24日(木)
場 所：東住吉森本病院 6F 講堂



【RUN 伴 2019 実施】

RUN 伴(ラントモ)は、認知症の人や家族、支援者、一般の人がリレーをしながらタスキをつなぐ体験を通じてゴールを目指すイベントで、昨年に引き続き今年も当院の管理部スタッフが参加いたしました。

日 時：2019年10月26日(土)
場 所：東住吉森本病院 正面玄関



■ 病院理念 ■

1. 患者さんの立場に立った、対話のある医療を提供するために努力します。
2. 地域医療施設との連携を深め、地域医療に貢献するために努力します。
3. より良い患者サービスをするために、働きがいのある職場環境の改善・維持に努めます。

■ 基本方針 ■

1. 「患者参加型」の安全で質の高い医療を提供します。
2. 地域完結型の医療サービスを提供します。
3. 地域の予防医療の啓蒙に貢献します。
4. 自己実現が出来る職場環境の確保を目指します。

■ 患者さんの権利 ■

1. 個人の尊厳の保持
2. 良質な医療を平等に受ける権利
3. 十分な説明を受ける権利
4. 検査・治療を自ら決定する権利
5. 医療について知る権利
6. プライバシーの保護
7. セカンドオピニオンを受ける権利

東住吉森本病院 地域医療連携センター

診察・検査・入院のご依頼、その他お問い合わせ
(地域医療機関・施設さま専用)

メールアドレス：m_chiiki@tachibana-med.or.jp

電話：0120-65-0343 FAX：0120-10-5260

【受付時間】 平 日 9:00～20:00

土曜日 9:00～17:00

地域医療連携センター長 坂上 祐司

副センター長 井内 郁代